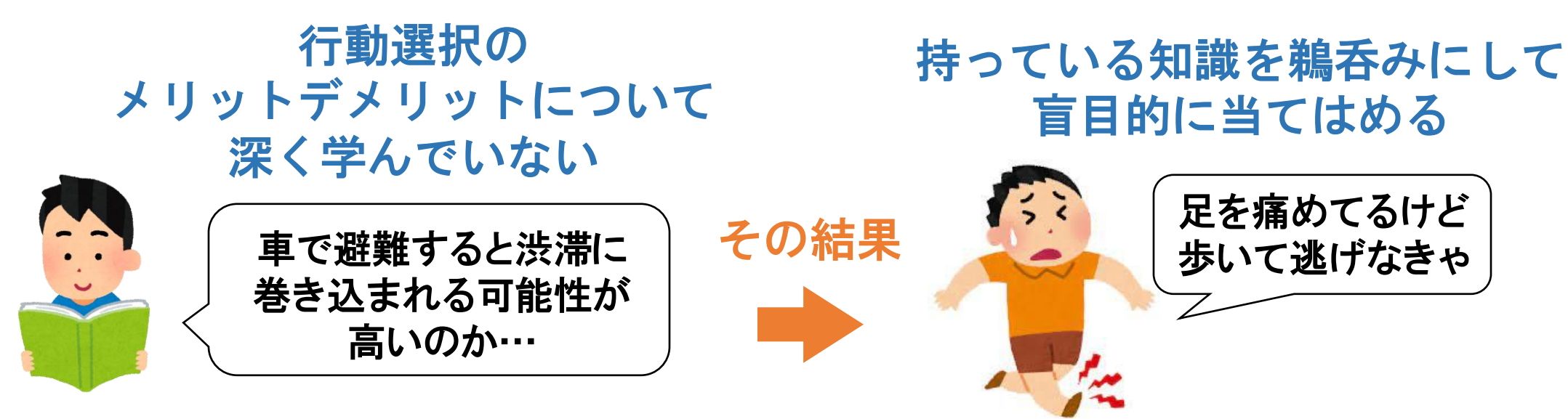


体験型防災学習による理解スクリプト形成支援システム

瀬田・林研究室 1201100084 紀 智哉

研究背景

従来の防災学習



望ましい防災学習

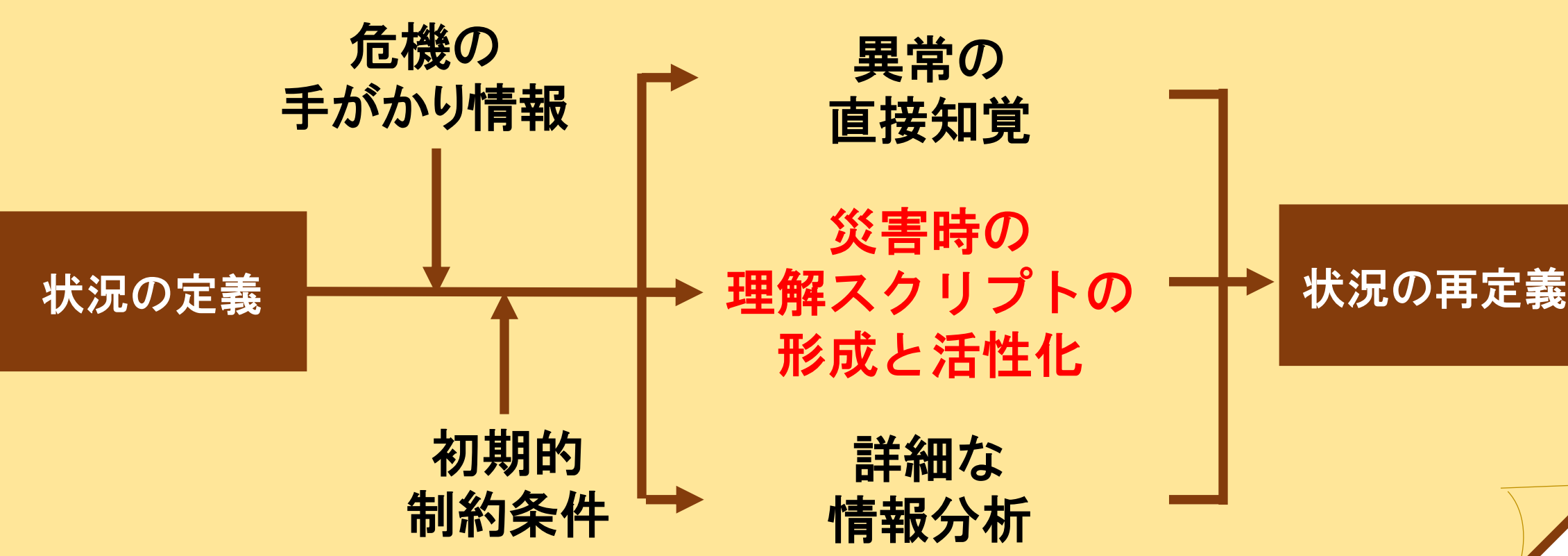


そのために 自分の持っている平時の理解スクリプトを**災害時の理解スクリプト**に修正し**状況の再定義**を行えることが必要

理解スクリプト^[1]

→その状況や行為がどの程度危険か理解するための知識

例. 地震時に車を使うと渋滞し逃げ遅れることがある



[1]田中孝治. "防災教育への展開を目指した行動意思決定モデルの検討." 教育システム情報学会誌 35.2 (2018): 81-93.

防災学習における困難性

防災学習において実際に体験して学ぶことは難しい

想定できないイレギュラーな状況に適応的で根拠を持って判断できるようになることが難しい

自分ごととして学ぶことが難しい

研究目的

災害時の理解スクリプト形成支援システムの実現

アプローチ

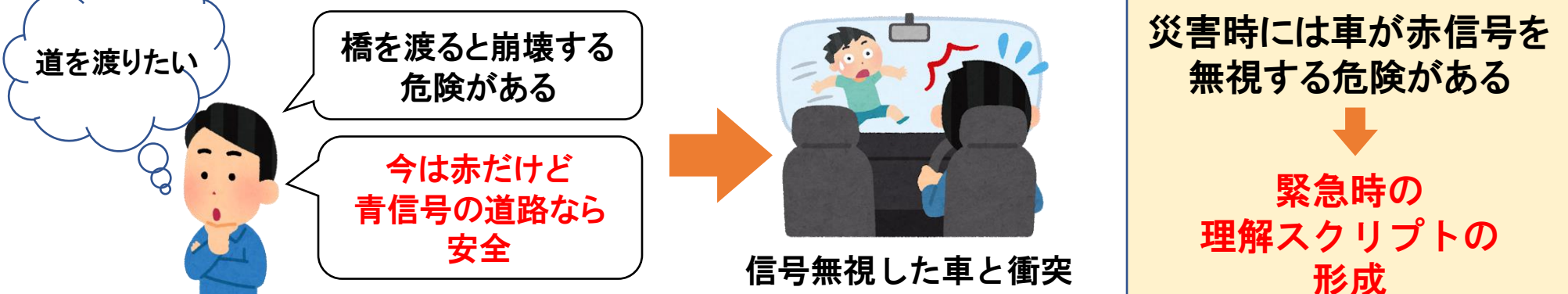
1. 仮想空間での災害の疑似体験

仮想空間での体験型の防災学習によって実際の災害と類似した教材を提供



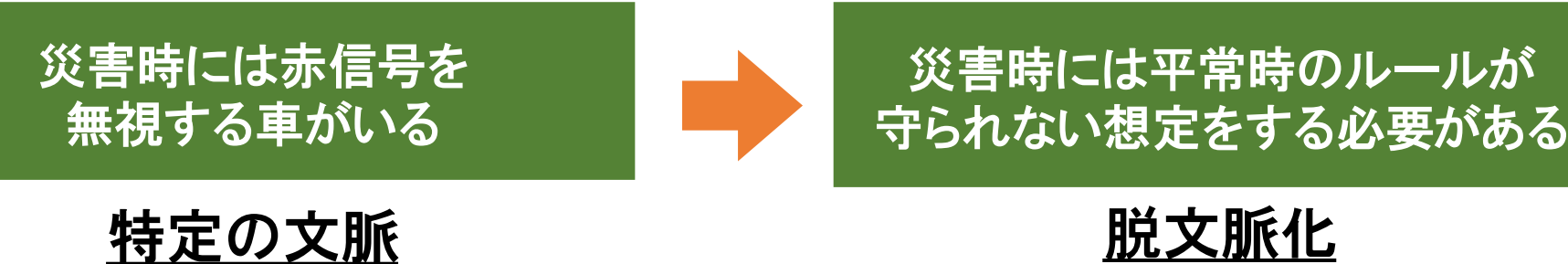
2. 行動のリスク分析と結果考察

複数の行動の選択肢がある中でどの選択肢にどの程度のリスクが潜むのかを考え行動



3. 学習したことの汎化

限定された災害経験から形成される状況依存的なスクリプトを汎化



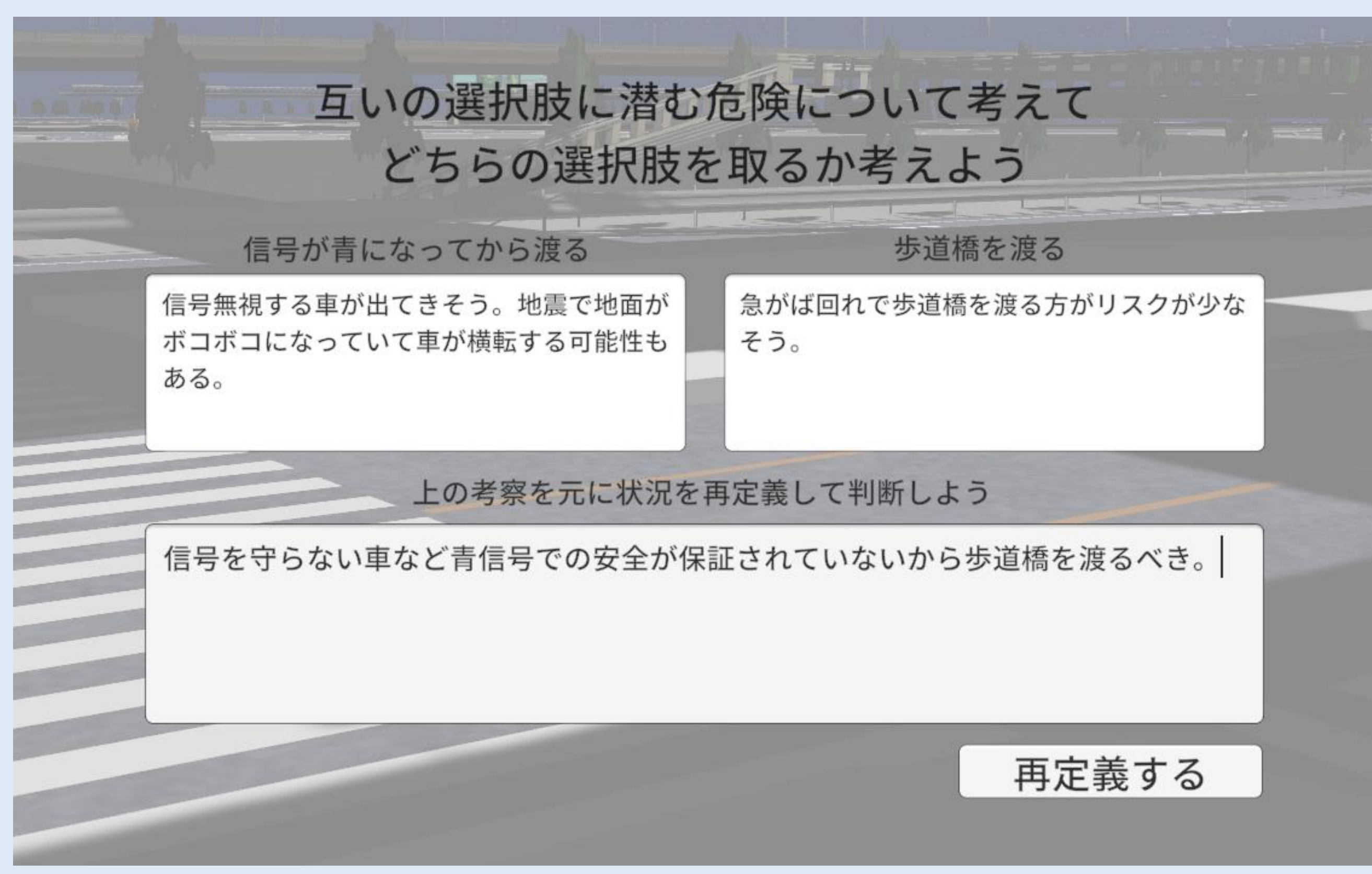
システム

開発言語：C# 開発環境：Unity

1 シーンの設定・疑似体験



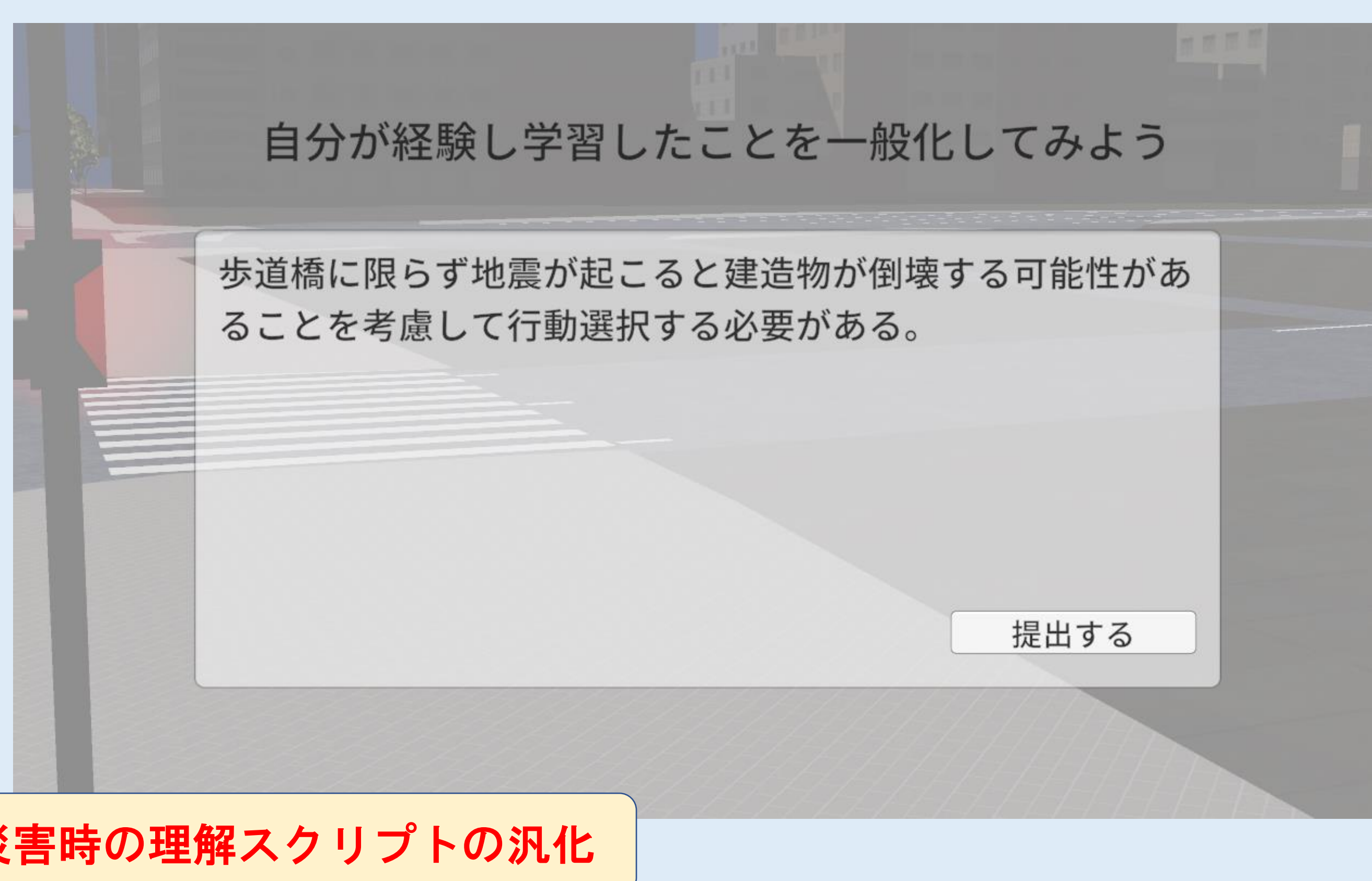
2.1 状況を再定義し 選択肢に潜むリスクを考察



2.2 自分の選択に不足していた観点について 実際の事例の記事を見ながら考察



3 経験を通して学習したことの汎化



今後の課題

- 災害課題コンテンツの充実
- 評価実験の実施